

# 社会科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

- 1 期 間 令和〇年〇月〇日(〇)～〇月〇日(〇)
- 2 場 所 第6学年〇組教室
- 3 学年・学級 第6学年〇組〇名
- 4 単 元 名 「明治の国づくりを進めた人々」
- 5 単元について

## (1) 単元観

本単元は、『小学校学習指導要領 社会』第6学年の内容(2)「歴史と人々の生活」の(ケ)及び(コ)に位置付き、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、大日本帝国憲法の発布などを取り上げる。その際、我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付ける単元である。

ア 我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

イ 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

明治時代は、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れながら政治や社会の仕組みを整えることで近代化を進めた時代である。これらは、国際的地位の向上を意識し、列強諸国と対等の国力をもつことを目指して行われ、その実現のために、大久保利通や伊藤博文など多くの人物が活躍した。この明治維新を通して日本は、江戸時代までとは国の在り方を大きく変化させ、その変化に伴って新たな国の在り方の方針として五箇条の御誓文を定め、大日本帝国憲法が発布された。つまり、変化する国際情勢の中で、国内の安定や国際的地位の向上のために自国の在り方を構想し、その新たな国づくりを通して、現代の政治や文化等の礎が築かれた時代である。

このことから本単元は、明治時代の世の中の変化の様子を学習することを通して、新しい国づくりを進めた人々をはじめとする、その時代の人々の願いや働きが我が国の発展の基盤になっていることを理解するとともに、児童自身が歴史の担い手として、平和で民主的な国家及び社会を築き上げることについて考えを深めることができる単元である。

## (2) 児童観

(略)

## (3) 指導観

指導に当たっては、明治時代の特色の理解に留まらず、現代とのつながりを通して考える中で、実社会で活用できる力の育成を目指したい。そのため、以下の三点の工夫を取り入れる。

### ア 現代との共通点を意識した単元構成

社会科における諸事象を、児童が自分事として学習するためには、学習する事象と自分たちの生活との関連に着目して学習することが重要である。そのため、歴史学習においても、取り扱う内容の理解に留まらず、その事象の現代までのつながりや、現代の事象との共通点なども視野に入れて単元を構成する必要がある。

本単元で取り扱う明治時代は、武士の世の終わりとともに、国際関係や政治の仕組み、文化などの大きな変化の中で、国際的地位の向上に向けた新しい日本の在り方を構想した時代である。一方、現代は、尖閣諸島問題やロシアのウクライナ侵攻をはじめ、国際情勢の大きな変化の中にあり、直近の参議院選挙で改憲勢力が定数の3分の2を越えたことで、日本国憲法の改正論争(※注)が盛り上がりを見せるなど、平和を維持するための日本の在り方について深慮すべき時を迎えている。このように、明治時代と現代には、国際関係の中で日本の在るべき姿を見つめ、政治や社会の仕組みを整えるという点で共通点がある。そこで本単元では、現在の日本の様子と大日本帝国憲法を発布した当時の日本の様子とを関連付けながら考えることを通して、明治時代の日本の様子や明治政府が目指した国づくりについて本質的に捉えるとともに、歴史学習と自分の生活や社会との関連を考えながら学習を進めることができるようにする。

(※注)

日本国憲法改正論争における各派の主張（平和の維持について）

肯定派

- ・ 平和を守るために不可欠な自衛隊を明記することで条文との矛盾を解消する
- ・ 世界情勢が変化する中で、平和を守るために、日本の防衛力を強化する
- ・ 世界の平和のために自衛隊の活動の自由度や安全性等を高める

否定派

- ・ 平和を守るために、他国への武力行使が可能になることをすべきでない
- ・ 平和を守るために、同盟国の戦争に巻き込まれる可能性があることをすべきでない
- ・ 平和主義に反した徴兵制が復活する可能性につながることをすべきでない

#### イ 概念を再文脈化させるための課題設定

学習したことを実社会で活用するためには、特定状況下での判断やその調整が必須であるため、授業においても、具体的事象から概念や価値観の形成に留まらず、それらをリアルな状況下で活用することが必要である。（再文脈化）

本単元では、再文脈化させる課題として、日本国憲法改正に係る論争問題についての課題を設定する。児童にとって「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」において学習し、昨今の国内の情勢を受けて様々なメディアで目にする機会の多いテーマである日本国憲法について取り上げることで、より真に迫った課題の追究を行うことができるようにする。

再文脈化に当たっては、大日本帝国憲法制定について学習する中で獲得する「外国との関係」「政治の仕組み」「国民の願い」という概念を適用して日本国憲法の改正について考えさせる。その際、変化の激しい国際情勢の中であって、「平和な日本であるために日本国憲法は改正するべきだろうか。」というテーマの下で、適用する概念を通して明治時代と現代とを比較しながら考えることを通して、獲得した概念の定着を図るとともに、現代社会を多角的に捉えることができるようにする。

#### ウ 意思決定に向けた問いの設定

実社会で生きる力を育成するためには、社会認識に留まらず、将来の社会参画まで視野に入れて学習を行うことが重要であり、その中核を担うのが意思決定であると捉える。

意思決定とは、社会的判断の過程の中で、目的を実行するための最も合理的な手段を選択・決定するために行う実践的判断のことである。社会的判断にはこの他に、社会的事象について「どのように」等の問いに対する記述的判断と、「なぜ」等の問いに対する説明的判断の二つからなる事実的判断、「善い、悪い」等に基づいて行われる価値的判断がある。意思決定は、事実的判断と価値的判断に基づき、「より望ましいのは」の問いに対して行われる。そこで、意思決定に向けて、事実的判断を行わせる問いと、価値的判断及び実践的判断を行わせる問いとを意識しながら授業を構成する。

本単元においては、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などに関する事実的判断を行いながら概念を獲得し、それらの概念を基に大日本帝国憲法の制定に関する価値的判断を行わせることで、社会的事象を相互に関連付けたり総合したりしながら、明治時代の世の中の変化の様子を構造的に理解できるようにする。さらに、現代において解決すべき課題である憲法改正論争において、「平和な日本であるために日本国憲法は改正するべきだろうか。」の問いに対して、大日本帝国憲法の制定に関する学習で獲得した概念を基に意思決定を行うことを通して、児童が自分たちの生活や現代の社会との関連を見出し、歴史学習で学んだことを基に国家及び社会の発展を考えることができるようにする。

#### 事実的判断

- I なぜ日本国憲法改正の論争が起こっているのだろうか。
- II なぜ日本は新しい国を目指したのだろうか。
- III 明治政府はどのようにして外国に負けない国をつくらうとしたのだろうか。
- IV 明治時代になって、人々の生活はどのように変わったのだろうか。
- V より豊かな日本にするために、人々はどのような行動をとったのだろうか。
- VI なぜ明治時代に大日本帝国憲法が必要だったのだろうか。

#### 価値的判断

- I 平和な日本であるために大切なことは何だろうか。
- II 人々が「新しい国を作らなければ！」と最も感じたのはいつか。
- III 国際競争力に最も影響を与えた政策はどれか。
- IV 明治維新は成功か失敗か。
- V 日本を豊かな国にしようとしたのは政府か国民か。
- VI 明治時代にふさわしかったのは大日本帝国憲法か日本国憲法か。

#### 実践的判断

- I 平和な日本であるために、日本国憲法は改正するべきだろうか。

以上三つの工夫により、単元を通じた概念の獲得に留まらず、概念を活用した意思決定力の育成を目指す授業にしていくことで、獲得した概念を実社会で活用する力を育成していく。

## 6 単元の目標

- ・ 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、大日本帝国憲法の発布などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解する。
- ・ 年表や絵画などの資料で調べ、まとめる。
- ・ 明治天皇を中心とした新政府や大日本帝国憲法、世の中の様子に着目して、明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行ったことや文明開化によって人々の生活が大きく変化したことなどを捉え、明治時代の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現する。
- ・ 明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行ったことや発足後 20 年ほどで憲法を制定したことなどについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする。

## 7 単元の評価規準

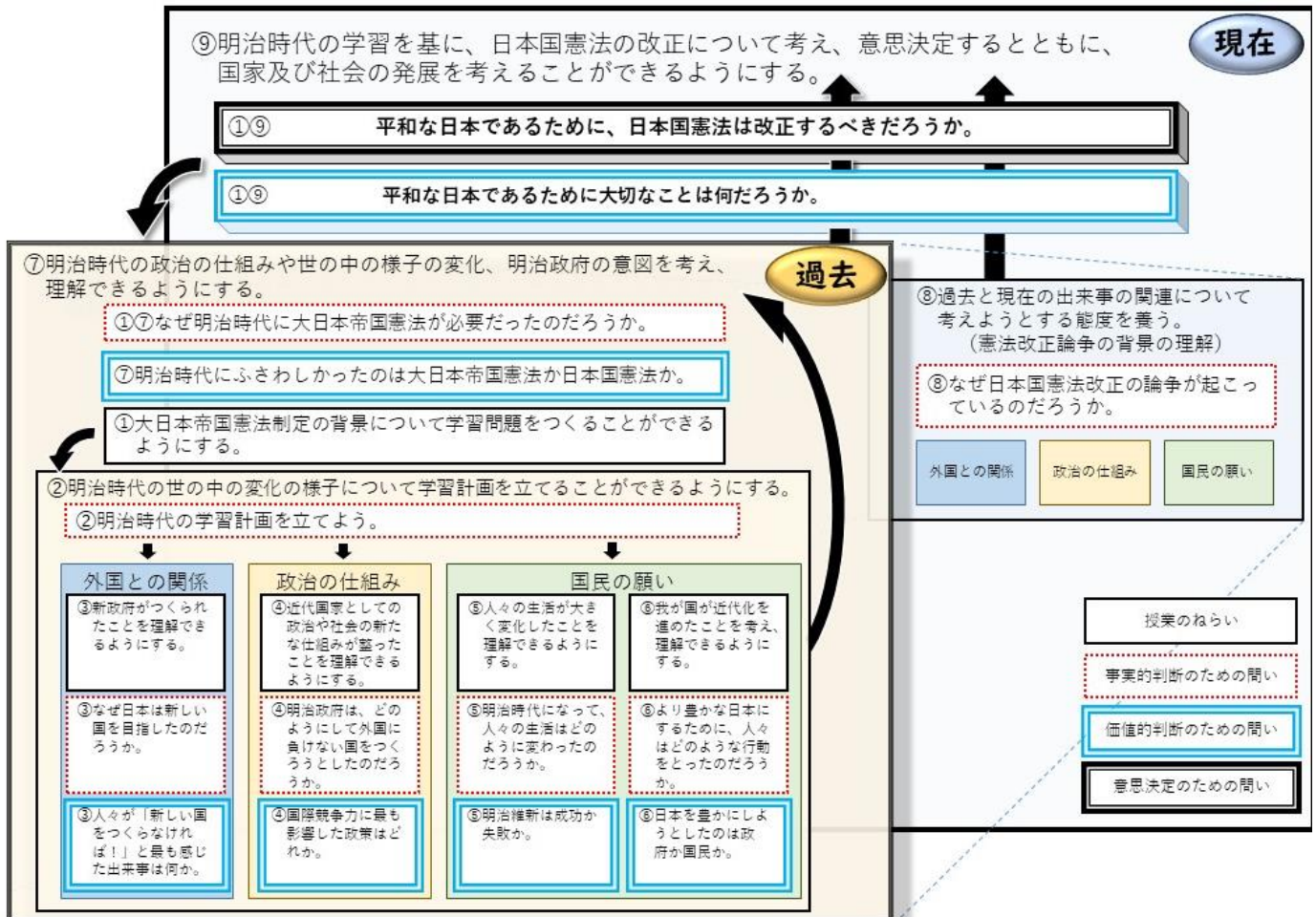
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 明治天皇を中心とした新政府や大日本帝国憲法、世の中の様子などについて、遺産や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行ったことや文明開化によって人々の生活が大きく変化したことなどを理解している。</p> <p>② 調べたことを、表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。</p>	<p>① 明治天皇を中心とした新政府や大日本帝国憲法、世の中の様子などに着目して、問いを見だし、明治政府が廃藩置県や四民平等などの諸改革を行ったことや文明開化によって人々の生活が大きく変化したことなどについて考え表現している。</p> <p>② 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、大日本帝国憲法の発布などを関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化、明治政府の意図を考え、学習してきたことを基に、意思決定を行ったり歴史を学ぶ意味について考えたりして、適切に表現している。</p>	<p>① 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、大日本帝国憲法の発布などについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>② 学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとしている。</p>

時	ねらい	○主な学習活動・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1 (ア 現代)	日本国憲法改正論争について調べることを通して、大日本帝国憲法制定の背景について学習問題をつくることができるようにする。	○日本国憲法の学習を振り返る。 ○憲法改正の概要についての動画を視聴する。 <b>平和な日本であるために大切なこととは何だろうか。(ウ価Ⅰ)</b>  <b>【イ 再文脈化させる課題】</b> 平和な日本であるために日本国憲法は改正するべきだろうか。(ウ実Ⅰ)  ○憲法改正について自分の考えを書く。 ○大日本帝国憲法について知り、単元の学習計画を立てる。  <b>なぜ明治時代に大日本帝国憲法が必要だったのだろうか。(ウ事Ⅵ)</b>	□動画「憲法って何？」 □動画「選挙後の焦点『憲法改正』 候補者の考えは」「【緊迫】日本漁船に急接近し威嚇も」  □アンケート調査「憲法に関する世論調査」	ワークシートの記述や発言内容から「憲法改正論争の背景など世の中の様子に着目して、問いを見いだしているか」を評価する。【思-①】
2	江戸時代と明治時代を比較することを通して、明治時代の世の中の変化の様子について学習計画を立てることができるようにする。	○江戸時代から明治時代への変化の様子を基に学習計画を立てる。 ・明治時代の町の様子 ・学制 ・明治維新 ○明治時代に世の中の様子が大きく変化した理由を予想し、学習計画を立てる。 ・活躍した人 ・政治の仕組み ・外国との関係	□鎌倉時代から明治時代までの町の様子を表した絵画 □絵画「明治時代初めの日本橋近くの様子」「明治時代初めの小学校の様子」 □年表「明治事始め年表」	ワークシートの記述や発言内容から「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】
3	黒船の来航や不平等条約などについて調べることを通して、新政府がつけられたことを理解できるようにする。	○日本が新しい国づくりが必要だと感じた1番の理由を考える。 ・黒船の来航 ・不平等条約の締結 ・下関戦争 <b>なぜ日本は新しい国を目指したのだろうか。(ウ事Ⅱ)</b>  <b>人々が「新しい国を作らなければ！」と最も感じたのはいつか。(ウ価Ⅱ)</b>	□動画「浦賀に到着した黒船」「不平等条約の締結」「尊王攘夷」 □絵画「異国船図」「下関で砲撃を開始した四国連合艦隊」 □グラフ「貿易開始後の物価の変化」	ワークシートの記述や発言内容から「黒船の来航や不平等条約などについて調べて、新政府がつけられたことを理解しているか」を評価する。【知-①】
4	明治時代の諸改革の内容を調べることを通して、近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整ったことを理解できるようにする。	○明治政府の行った諸改革の中で、外国との競争力の向上に最も影響を与えたものを考える。 ・廃藩置県 ・殖産興業 ・徴兵令 ・地租改正  <b>明治政府はどのようにして外国に負けない国をつくらうとしたのだろうか。(ウ事Ⅲ)</b>	□教科書「国の分けを変え(廃藩置県)」「工業を盛んにする(殖産興業)」「強い軍隊をつくる(徴兵令)」「国の収入を安定させる(地租改正)」「富国強兵」	ワークシートの記述や発言内容から「明治時代の諸改革の内容を調べて、近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整ったことを理解しているか」を評価する。【知-①】

		国際競争力に最も影響を与えた政策はどれか。(ウ価Ⅲ)		
5	<p>文明開化や四民平等などについて調べることを通して、人々の生活が大きく変化したことを理解できるようにする。</p>	<p>○明治維新が成功か失敗かについて考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文明開化</li> <li>・四民平等</li> <li>・学制の発布</li> </ul> <p>○明治時代に起こった農民一揆の理由について調べ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学制への反対</li> <li>・徴兵令への反対</li> <li>・地租改正への反対</li> </ul> <p>明治時代になって、人々の生活はどのように変わったのだろうか。(ウ事Ⅳ)</p> <p>明治維新は成功か失敗か。(ウ価Ⅳ)</p>	<p>□教科書「学問のすゝめ」「文明開化」「本当の平等を求めて」「鉄道の開通」「郵便制度の始まり」「学制公布後の就学率の変化」</p> <p>□地図「増える農民一揆」</p> <p>□絵画「三重県下頑民暴動之事件」</p>	<p>ワークシートの記述や発言内容から「文明開化や四民平等などについて調べて、人々の生活が大きく変化したことを理解しているか」を評価する。【知-①】</p>
6	<p>西南戦争や自由民権運動について調べることを通して、我が国が近代化を進めたことについて考え、理解できるようにする。</p>	<p>○日本を豊かにしようとしたのは政府か国民かについて考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西南戦争</li> <li>・自由民権運動</li> </ul> <p>より豊かな日本にするために、人々はどのような行動をとったのだろうか。(ウ事Ⅴ)</p> <p>日本を豊かな国にしようとしたのは政府か国民か。(ウ価Ⅴ)</p>	<p>□絵画「西南戦争」「演説の中止を求める警察官」</p> <p>□マップグラフ「国会開設を望む声」</p>	<p>ワークシートの記述や発言内容から「人々の政府に対する不満を根拠に、国会開設の必要性を考えているか」を評価する。【思-①】</p> <p>ワークシートの記述や発言内容から「改革による生活の様子の変化と自由民権運動の目的について調べて、近代的な政治の仕組みが整ってきたことを理解しているか」を評価する。【知-②】</p>
7	<p>大日本帝国憲法の内容と明治政府の体制を調べ、明治時代の政治の仕組みや世の中の様子の変化、明治政府の意図を考え、理解できるようにする。</p>	<p>○明治時代に相応しいといえるのは大日本帝国憲法か日本国憲法か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五箇条の御誓文</li> <li>・大日本帝国憲法</li> <li>・明治時代の国のしくみ</li> </ul> <p>なぜ明治時代に大日本帝国憲法が必要だったのだろうか。(ウ事Ⅵ)</p> <p>明治時代にふさわしかったのは大日本帝国憲法か日本国憲法か。(ウ価Ⅵ)</p>	<p>□教科書「憲法の主な内容」「憲法草案の記念碑」「大日本帝国憲法にもとづく国のしくみ」</p> <p>□絵画「憲法発布式祝祭図」</p> <p>□「五箇条の御誓文」</p> <p>□海外の憲法学者や民権派の憲法に対する評価</p>	<p>ワークシートの記述や発言内容から「学習したことを基に、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化、明治政府の意図を考え表現しているか」を評価する。【思-②】</p> <p>ワークシートの記述や発言内容から「これまでの学習を基に、我が国が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解しているか」を評価する。【知-②】</p>
8 (ア 現代)	<p>これまでの学習を基に、過去と現在の出来事の間について考えようとする態度を養う。</p>	<p><b>【イ 再文脈化させる課題】</b> 平和な日本であるために日本国憲法は改正するべきだろうか。(ウ実Ⅰ)</p> <p>○憲法改正論争が起こった背景について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国との関係</li> </ul>	<p>□アンケート「NHK世論調査」</p> <p>□HP「みんなとわたし」</p>	<p>ワークシートの記述や発言内容から「日本国憲法の改正の背景について、過去の出来事と現在の社会との関連について考えようとしているか」を評価する。【態-②】</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>政治の仕組み</li> <li>国民の願い</li> </ul> <p>なぜ日本国憲法改正の論争が起きているのだろうか。(ウ事Ⅰ)</p>	<p>の憲法」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□地図「台湾有事」</li> <li>□新聞記事「北朝鮮日本へ弾道弾」「露、武力で投票強制」</li> </ul>	
9 (ア現代)	<p>これまでの学習を基に、日本国憲法の改正について考え意思決定するとともに、国家及び社会の発展を考えようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○憲法改正についての自分の考えを書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>外国との関係、政治の仕組み、国民の願いに基づく改憲や護憲の立場</li> </ul> </li> <li>○弁護士から、憲法についての話を聞く。</li> </ul> <p>平和な日本であるために大切なことは何だろうか。(ウ価Ⅰ)</p> <p>平和な日本であるために、日本国憲法は改正するべきだろうか。(ウ実Ⅰ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□前時で作成した憲法改正に関する主張の表</li> <li>□アンケート「NHK 世論調査」</li> </ul>	<p>ワークシートの記述や発言内容から「日本国憲法の改正について、過去の出来事と現在の社会との関連から、国家及び社会の発展を考え意思決定しているか」を評価する。【思-②】</p> <p>ワークシートの記述や発言内容から「学習したことを基に、国家及び社会の発展を考えようとしているか」を評価する。【態-②】</p>

9 単元の構造図



10 指導過程（全 9 時間）

《第 1 時》

(1) 本時の目標

日本国憲法改正論争について調べることを通して、大日本帝国憲法制定の背景について学習問題をつくらることができるようにする。

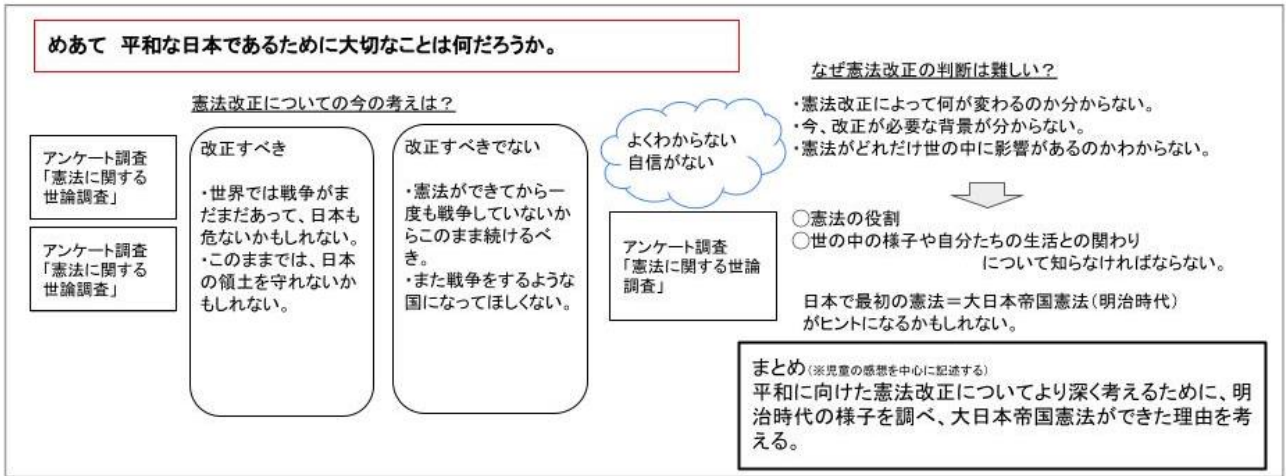
(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・ 児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○日本国憲法の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国や国民生活の基本を定めたもの。</li> <li>・ 国民主権、平和主義、基本的人権の尊重という 3 つの原則がある。</li> </ul> <p>○現在の日本が平和かどうか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 70 年以上戦争をしていないから平和。</li> <li>・ 領土問題など外国との関係で不安に感じることがあるから平和とは言えない。</li> </ul>	<p>□動画「【緊迫】日本漁船に急接近し威嚇も」</p>	<p>◇「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の学習内容を全員で確認する。</p> <p>◇発表後に動画を視聴し、改めて平和について問うことで、日本の現状を見つめ直すことができるようにする。</p>
<p>平和な日本であるために大切なことは何だろうか。（ウ価 I）</p>		
<p>○日本国憲法改正論争に関する動画を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 9 条の平和主義が議論されている。</li> <li>・ 政治家も国民も、改正に対して立場が分かっている。</li> </ul>	<p>□動画「憲法って何？」「選挙後の焦点『憲法改正』」</p>	<p>◇憲法改正について様々な立場があり、長く論争が続いていることを確認する。</p>
<p><b>【イ 再文脈化させる課題】</b> 平和な日本であるために日本国憲法は改正するべきだろうか。（ウ実 I）</p>		
<p>○日本国憲法改正についての自分の考えを記述し、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争につながりそうだから変えない方がよい。</li> <li>・ 日本を守るために変えた方がよい。</li> <li>・ よく分からない。</li> </ul> <p>○憲法改正の判断が難しい理由について考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 憲法改正によって何がかわるのか分からない。</li> <li>・ 今、改正が必要な背景が分からない。</li> <li>・ 憲法がどれだけ世の中に影響があるのかわからない。</li> </ul> <p>○大日本帝国憲法について知り、単元の学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治時代に日本で初めて憲法を作った理由が分かれば、日本国憲法についてもっと深く考えられそう。</li> <li>・ 憲法は世の中の様子とどのようなつながりがあるのか調べないといけない。</li> </ul>	<p>□アンケート調査「憲法に関する世論調査」</p>	<p>◇意見交流を活発にするためにタブレット（スプレッドシート）を活用する。</p> <p>◇「平和主義を貫くため」という条件を確認した上で、現時点での自分の考えを書くように促す。</p> <p>◇自分の考えを書くことが難しい児童には、友達ワークシートを参考にするように促す。</p> <p>◇多様な意見を取り上げることを通して、憲法は、その役割や生活との関わりなど様々な面から捉える必要があることに気付くことができるようにする。</p> <p>◇日本初の憲法が明治時代にできたことを確認することで、憲法の制定過程や明治時代の様子に興味を喚起する。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「憲法改正論争の背景など世の中の様子に着目して、問いを見いだしているか」を評価する。【思-①】</p>
<p>なぜ明治時代に、大日本帝国憲法が必要だったのだろうか。（ウ事 VI）</p>		
<p>○本時の振り返りを記入する。</p>		<p>◇今後の学習の見通しや自分が特</p>

・大日本帝国憲法ができた背景を知って、日本国憲法についてもっとよく考えることができるようになりたい。

に調べてみたいことなどについて書くように促す。

(3) 板書計画





《第2時》

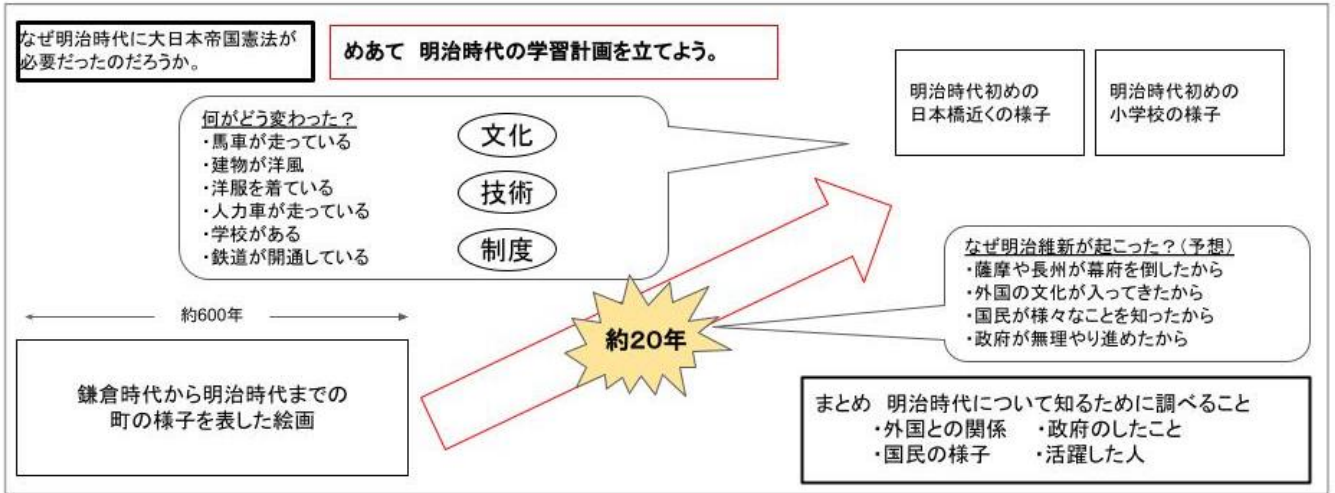
(1) 本時の目標

江戸時代と明治時代を比較することを通して、明治時代の世の中の変化の様子について学習計画を立てることができるようにする。

(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・ 児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 憲法について考えるために、明治時代の大日本帝国憲法制定の背景を考える。</li> </ul> <p>明治時代の学習計画を立てよう。</p>	<p>□前時のワークシート</p>	<p>◇前時のワークシートを基に、学習内容と本時の内容とを全員で確認できるようにする。</p>
<p>○鎌倉時代から明治時代までの町の様子の変り変わりを見て、時代が大きく変わったと思う時期を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江戸時代と明治時代で大きく変わっている。</li> <li>・ 江戸時代まではあまり変わっていない。</li> </ul> <p>○明治時代の世の中の変化の様子を資料から読み取り、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校が始まった。</li> <li>・ 洋服を着た人がいる。</li> <li>・ 鉄道が開通している。</li> </ul> <p>○明治時代に世の中の様子が大きく変化した理由を予想し、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幕府が無くなったからだと思うから、幕府を倒した人を調べる。</li> <li>・ 外国の文化が入ってきて変わったと思うから、外国との関係について調べる。</li> <li>・ 政府が様々な取組をしているはずだから、政府がしたことについて調べる。</li> </ul>	<p>□鎌倉時代から明治時代までの町の様子を表した絵画</p> <p>□絵画「明治時代初めの日本橋近くの様子」「明治時代初めの小学校の様子」</p> <p>□年表「明治事始め年表」</p>	<p>◇鎌倉時代から江戸時代までの約600年での変化と、江戸時代から明治時代までの約20年の変化を比較することで、明治時代の変化の大きさに着目できるようにする。</p> <p>◇技術、文化、制度等複数の観点で整理することで、明治時代の世の中の様子を概観することができるようにする。</p> <p>◇予想を立てることが難しい児童には、1番大きな変化だと思われるところを考え、調べることとして書くように促す。</p> <p>◇ジャムボードを使ってグループ分けをすることで、複数の予想を整理できるようにする。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態-①】</p>
<p>○本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国との関係、政府がしたこと、国民の様子、活躍した人について調べる。</li> </ul> <p>○本時の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代の大きな変化と憲法の制定は何か関係があるのかもしれない。</li> <li>・ 色々な人が頑張らないとこんなに大きく変わらないはず。どんな人が活躍したのか知りたい。</li> </ul>		<p>◇話合いで出された複数の視点に基づいてグループ分けすることで、学習内容に見通しをもつことができるようにする。</p> <p>◇社会の様子の大きな変化の背景に着目し、大日本帝国憲法制定とのつながりを考えながら書くように促す。</p> <p>◇日本国憲法改正についての自分の考えに変化があれば、第1時のワークシートを修正する。 (ウ実I)</p>

(3) 板書計画



《第3時》

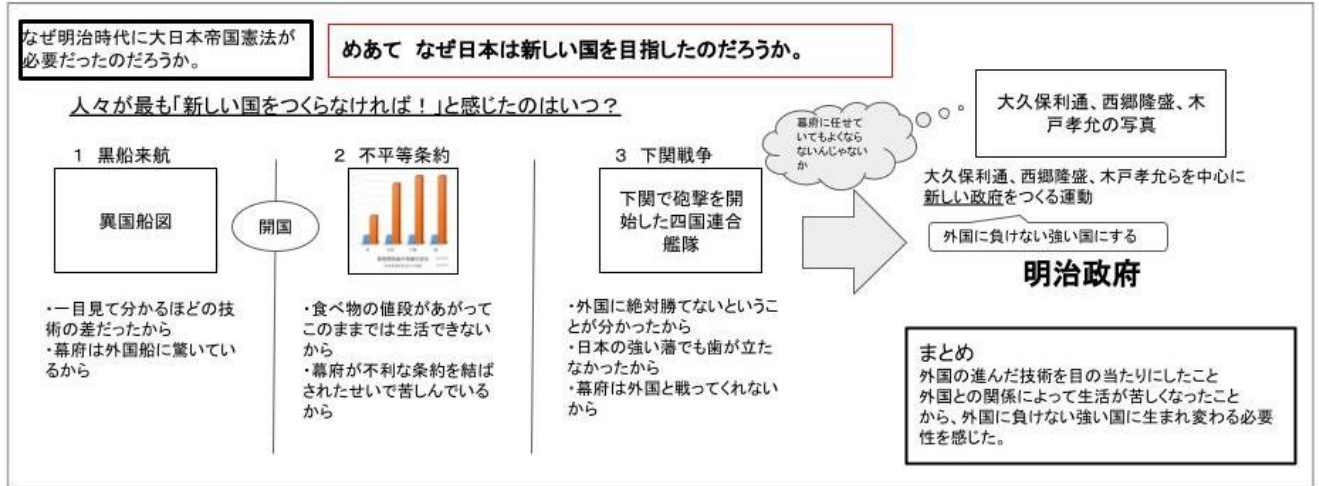
(1) 本時の目標

黒船の来航や不平等条約などについて調べることを通して、新政府がつけられたことを理解できるようにする。

(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・ 児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習計画を立てた。</li> <li>・ 文化や技術などが大きく変化した。</li> <li>・ 変化の理由を予想した。</li> </ul>	<p>□前時のワークシート</p>	<p>◇前時のワークシートを基に、学習内容と本時の内容とを全員で確認できるようにする。</p>
<p>なぜ日本は新しい国を目指したのだろうか。 (ウ事Ⅱ)</p>		
<p>○攘夷から倒幕へと世の中の流れが変わる転換点となった出来事を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒船来航</li> <li>・ 不平等条約の締結</li> <li>・ 下関戦争</li> </ul> <p>○「人々が『新しい国をつくらなければ!』と最も感じた出来事は何か」 (ウ価Ⅱ) を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術の差と開国の圧力に幕府がひるんだ黒船来航</li> <li>・ 物価が上がって生活が苦しくなる原因となった不平等条約</li> <li>・ 国内で力をもっていた長州が手も足も出なかったことで外国との力の差を痛感した下関戦争</li> <li>・ 日本が混乱してたくさんの人が苦しんでいたから、新しい国を作ろうと思ったのだろう。</li> </ul>	<p>□動画「浦賀に到着した黒船」「不平等条約の締結」「尊王攘夷」</p> <p>□絵画「異国船図」「下関で砲撃を開始した四国連合艦隊」</p> <p>□グラフ「貿易開始後の物価の変化」</p>	<p>◇それぞれの事象の内容や関連を調べることで、明治政府成立までの概要を理解できるようにする。</p> <p>◇意見交流を活発にするためにタブレット (スプレッドシート) を活用する。</p> <p>◇人々の混乱や苦悩の様子と幕府の働きに着目して調べるように促す。</p> <p>◇選んだ理由を書くことが難しい児童には、友達ワークシートの中から同じ立場の意見を参考にするように促す。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「黒船の来航や不平等条約などについて調べて、新政府がつけられたことを理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>
<p>○本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国の進んだ技術を目の当たりにしたことと、外国との関係によって生活が苦しくなったことから、外国に負けない強い国に生まれ変わる必要性を感じた。</li> </ul> <p>○本時の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国との差の大きさが、日本が生まれ変わろうとするきっかけになったことが分かった。</li> <li>・ これだけの大きな差をどうやって埋めたのか知りたい。</li> </ul>		<p>◇話合いで出た意見のうち、幕末の人々の「外国との力の差や国内の混乱を解消したい」という願いの共通点に着目するように促す。</p> <p>◇学習の中で特に印象に残ったことや、今後調べてみたいことについて書くように促す。</p> <p>◇日本国憲法改正についての自分の考えに変化があれば、第1時のワークシートを修正する。 (ウ実Ⅰ)</p>

(3) 板書計画



《第4時》

(1) 本時の目標

明治時代の諸改革の内容を調べることを通して、近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整ったことを理解できるようにする。

(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・ 児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国に技術や武力で勝てず生活も苦しくなったから新しい国をつくろうと思った。</li> </ul> <p>明治政府は、どのようにして外国に負けない国をつくろうとしたのだろうか。 (ウ事Ⅲ)</p>	<p>□前時のワークシート</p>	<p>◇前時のワークシートを基に、学習内容と本時の内容とを全員で確認できるようにする。</p>
<p>○明治政府が行った改革を調べ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藩を廃止し政府から県令を派遣して治めさせた廃藩置県</li> <li>・ 外国人技師を招き、官営工場を作った殖産興業</li> <li>・ 全国から兵士を集めた徴兵令</li> <li>・ 税を米から現金に変えた地租改正</li> </ul> <p>○「国際競争力の向上に最も影響した政策はどれか」 (ウ価Ⅲ) について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本を政府中心にまとめることで、外国に負けない国づくりの土台になった廃藩置県 (政治の仕組みの変化)</li> <li>・ 日本の技術の向上と武器製造で経済的にも軍事的にも成長させた殖産興業 (技術力の発展、産業の振興、税収の安定)</li> <li>・ 全国から若い兵士を集め、世界に負けない軍隊を目指した徴兵令 (軍事力の強化)</li> <li>・ 税収を安定させ、様々な政策に必要な資金の基となった地租改正。 (税収の安定)</li> </ul>	<p>□教科書「国の区分けを変える(廃藩置県)」「工業を盛んにする(殖産興業)」「強い軍隊をつくる(徴兵令)」「国の収入を安定させる(地租改正)」</p>	<p>◇教科書に記載されていることを中心に、どのような制度が制定されたのかを確認する。</p> <p>◇意見交流を活発にするために、タブレット端末(スプレッドシート)を活用し、学級全体の価値的判断の傾向を見ることができるようになる。</p> <p>◇政策による世の中の変化に着目して、自分が選んだ政策が、なぜ外国に負けない国づくりにつながるのかを書くように促す。</p> <p>◇話し合い場面では、価値的判断の理由に着目することで、判断基準を分類できるようにする。</p> <p>◇選んだ理由を書くことが難しい児童には、友達ワークシートの中から同じ立場の意見を参考に促す。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「明治時代の諸改革の内容を調べて、近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整ったことを理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>
<p>○本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治政府は、軍事力や経済力を強化する富国強兵に力を入れることで、外国に負けない国をつくろうとした。</li> </ul> <p>○本時の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軍事力と経済力を向上させて強い国にするために、様々な政策が関わり合っていたことが分かった。</li> </ul>	<p>□教科書「富国強兵」</p>	<p>◇話し合いで出た意見を、軍事力の向上を目指したものと経済力の向上を目指したものに分けて確認する。</p> <p>◇学習の中で特に印象に残ったことや、今後調べてみたいことについて書くように促す。</p> <p>◇日本国憲法改正についての自分の考えに変化があれば、第1時</p>

(3) 板書計画

なぜ明治時代に大日本帝国憲法が必要だったのだろうか。

めあて 明治政府はどのようにして外国に負けない国をつくろうとしたのだろうか。

国際競争力に一番影響を与えたのは？

廃藩置県後の日本	官営富岡製糸場	戦いに向かう政府軍	地租改正のための測量の様子
制度の徹底 ・政府の命令を全国で守らせることができ、団結力が増す。 ・様々な政策が行いやすくなる。 ・国内が落ち着いて、外国に目を向けることができるようになる。	・外国の技術を取り入れて発展している。 ・大量生産できるようになる。(武器も) ・作ったもので貿易ができる。	・兵士の数を増やすことができる。 ・若い兵士が集まるから軍事力が向上する。 ・外国からの攻撃にも対抗できる。	・安定して税金を集めることができ、お金を改革に使えるようになる。 ・外国と張り合うためにはお金が必要。

建設費など

装備代

**富国強兵**  
経済力と軍事力を強化することで外国に負けない国をつくる。

まとめ  
明治政府は、軍事力や経済力を強化する富国強兵に力を入れることで、外国に負けない国をつくろうとした。

《第5時》

(1) 本時の目標

文明開化や四民平等などについて調べることを通して、人々の生活が大きく変化したことを理解できるようにする。

(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府は、廃藩置県、殖産興業、徴兵令、地租改正など富国強兵に力を入れることで、外国に負けない国をつくろうとした。</li> </ul> <p>○本時の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は政府のことだけだったから、今回は市民のことを調べる。</li> </ul>	<p>□前時のワークシート</p> <p>□第2時のワークシート</p>	<p>◇前時のワークシートを基に、学習内容と本時の内容を全員で確認できるようにする。</p> <p>◇第2時で立てた学習計画に基づいて考えるよう促す。</p>
<p>明治時代になって、人々の生活はどのように変わったのだろうか。 (ウ事IV)</p>		
<p>○明治時代の人々の生活の変化の様子を調べ、「明治維新は成功か失敗か」(ウ価IV)を考え、話し合う。</p> <p><u>成功</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文明開化で新しい文化や考え方が入ってきた。(文化)</li> <li>・身分制度が改められ、住所や職業選択が自由になった。(自由、人権の尊重)</li> <li>・鉄道や郵便など新しい技術や制度によって生活が便利になった。(便利さ)</li> </ul> <p><u>失敗</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文化が軽く見られるようになった。(文化)</li> <li>・新しい身分の違いが生まれた。(人権の尊重)</li> </ul> <p>○明治時代に起こった農民一揆の理由について調べ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学制や徴兵令によって、農家の働き手がいなくなった。</li> <li>・地租改正により現金で税を集めるようになったため、農民は常に思い税の負担に悩まされた。</li> </ul>	<p>□教科書「学問のすゝめ」「文明開化」「本当の平等を求めて」「鉄道の開通」「郵便制度の始まり」「学制公布後の就学率の変化」</p> <p>□地図「増える農民一揆」</p> <p>□絵画「三重県下頑民暴動之事件」</p>	<p>◇意見交流を活発にするために、タブレット端末(スプレッドシート)を活用し、学級全体の価値的判断の傾向を見ることができるようになる。</p> <p>◇生活の変化について調べたことを前時で扱った政府の改革とつなげて考えるように促す。</p> <p>◇話し合い場面では、価値的判断の理由に着目することで、判断基準を分類できるようにする。</p> <p>◇選んだ理由を書くことが難しい児童には、友達のワークシートの中から同じ立場の意見を参考にするように促す。</p> <p>◇政府の諸改革と農民一揆が起こった理由との関係について考えることで、生活の変化によって苦悩した人々の存在に気付くことができるようになる。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「文明開化や四民平等などについて調べて、人々の生活が大きく変化したことを理解しているか」を評価する。</p> <p style="text-align: right;">【知-①】</p>
<p>○本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文明開化や政府の改革によって生活が豊かになる一方で、新しい制度に苦しむ人々もいた。</li> </ul> <p>○本時の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代はよい変化ばかりだと思っていたけど、悪い面もあった事を初めて知った。</li> </ul>		<p>◇立場の違いによって成功と失敗の受け止め方が変わることを確認する。</p> <p>◇学習の中で特に印象に残ったことや、今後調べてみたいことについて書くように促す。</p> <p>◇日本国憲法改正についての自分の考えに変化があれば、第1時のワークシートを修正する。</p>

(3) 板書計画

なぜ明治時代に大日本帝国憲法が必要だったのだろうか。

めあて 明治時代になって、人々の生活はどのように変わったのだろうか。

明治維新は成功？失敗？

成功	失敗
<ul style="list-style-type: none"><li>・西洋の新しい技術や考え方が取り入れられ、生活が豊かになった。(文明開化)</li><li>・身分制度が改められ、職業や住む場所が自由に選べるようになった。</li><li>・鉄道が開通して人や物の行き来が盛んになった。</li><li>・郵便制度や電報が始まり、遠くの人とも連絡が取れるようになった。</li><li>・学制が公布され、みんなが勉強できるようになった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本の文化が軽く見られるようになった。</li><li>・新しい形で身分の違いが残った。</li><li>・地租改正によって、農民の負担が重くなった。</li><li>・徴兵令によって働き手が取られる。</li><li>・学制によって働き手が取られる。</li></ul>



増える農民一揆

学制反対一揆  
徴兵令反対一揆  
地租改正反対一揆

三重県下頑民暴動之事件

まとめ  
文明開化や明治政府の改革によって、生活が豊かになる一方で、新しい制度に苦しめられる人々もいた。



《第6時》

(1) 本時の目標

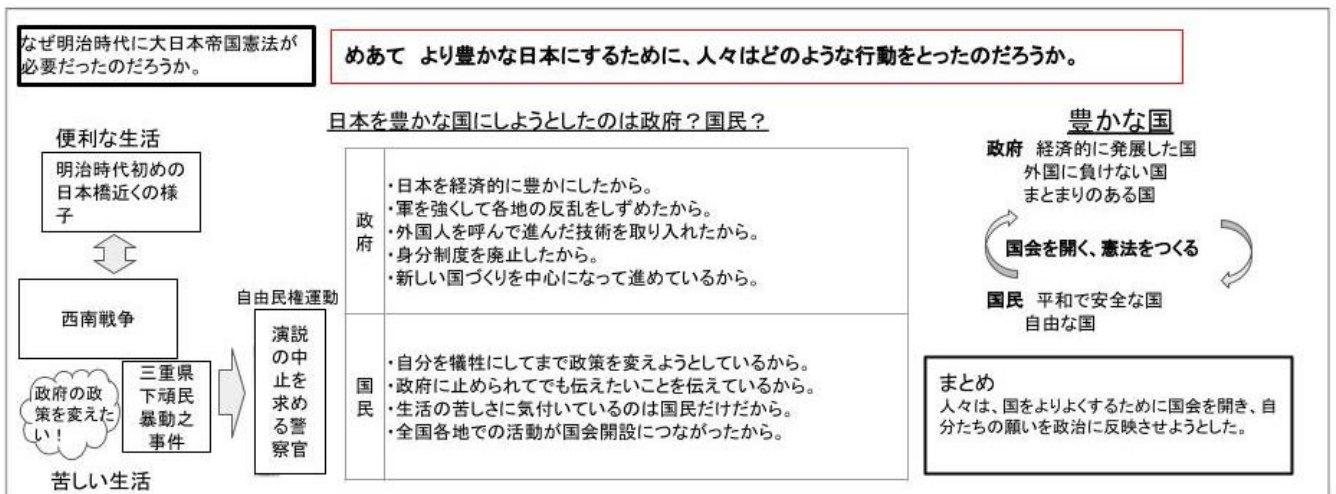
西南戦争や自由民権運動について調べることを通して、我が国が近代化を進めたことについて考え、理解できるようにする。

(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・ 児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活が便利になる一方で、苦しい生活を送る人々もいた。</li> </ul>	<p>□前時のワークシート</p> <p>□教科書「明治維新と北海道・沖縄」</p>	<p>◇前時のワークシートを基に、学習内容と本時の内容とを全員で確認できるようにする。</p>
<p>より豊かな日本にするために、人々はどのような行動をとったのだろうか。(ウ事V)</p>		
<p>○西南戦争や自由民権運動について知り、本時の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>苦しい生活から抜け出すために、各地で反乱が起こった。</li> <li>武力での反乱から言論での主張に変わった。</li> </ul>	<p>□これまでの学習で取り扱った資料</p> <p>□教科書「西南戦争」「演説の中止を求める警察官」「板垣退助」「国会開設を望む声」</p>	<p>◇反乱と言論による主張のねらいの共通点に着目することで、世の中の変化に苦しんでいた人々が国を変えるために行動したことを確認する。</p>
<p>○「日本を豊かにしようとしたのは政府か国民か」(ウ価V)について考え、話し合う。</p> <p><u>政府</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人を呼んで進んだ技術を取り入れたから。</li> <li>各地の反乱をしずめたから。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(国家の繁栄、安定)</p> <p><u>国民</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政府に止められてでも自分たちの願いが政府に届くように主張しているから。</li> <li>国民が苦しみから解放されるように、自分を犠牲にして国を変えようとしたから。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(個人の幸せ、生活の安定)</p> <p>○政府と国民のそれぞれの立場から「豊かな国」について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済や技術が発展して、まとまりのある国。</li> <li>国民が大切にされる国。</li> <li>平和で安全な国。</li> </ul> <p>○政府と国民の願いのずれに基づいて、国会開設や憲法制定の意義について考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民の願いを政治に反映して、政府と国民の願いのずれをなくすために国会がある。</li> <li>政府が国の目指す方向や大切にすることについて国民に約束するために憲法が必要。</li> </ul>	<p>□前時までのワークシート</p> <p>□これまでの学習で取り扱った資料</p>	<p>◇意見交流を活発にするために、タブレット端末(スプレッドシート)を活用し、学級全体の価値的判断の傾向を見ることができるようになる。</p> <p>◇政府が行ってきた改革のねらいを振り返ることで、政府が日本の発展のために果たした役割について考えるように促す。</p> <p>◇政府に反対されながらも行動している姿に着目することで、国を変えたいという人々の強い思いを感じられるようにする。</p> <p>◇政府か国民かという価値的判断を割合で表すことによって、どちらの立場にも共感できるようにする。</p> <p>◇選んだ理由を書くことが難しい児童には、友達ワークシートを参考にするように促す。</p> <p>◇政府と国民のねらいや願いに着目することで、「豊かな国」の捉えにずれがあることに気付くことができるようにする。</p> <p>◇自由民権運動の目的を振り返ることで、国会や憲法が政府と国民をつなぐことについて考えることができるようにする。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「人々の政府に対する不満を根拠に、国会開設の必要性を考えているか」を評価する。</p>

		<p>【思-①】 ☆ワークシートの記述や発言内容から「改革による生活の様子の変化と自由民権運動の目的について調べて、近代的な政治の仕組みが整ってきたことを理解しているか」を評価する。</p> <p>【知-②】</p>
<p>○本時のまとめをする。 ・人々は、国をよりよくするために国会を開き、自分たちの願いを政治に反映させようとした。</p> <p>○本時の振り返りを記入する。 ・政府も国民も豊かな国にしたいという願いは共通していたことが分かった。</p>		<p>◇板書を振り返ることで、国民が政治に参加する仕組みを整えようとしていたことが理解できるようにする。</p> <p>◇学習の中で特に印象に残ったことや、今後調べてみたいことについて書くように促す。</p> <p>◇日本国憲法改正についての自分の考えに変化があれば、第1時のワークシートを修正する。</p> <p>(ウ実I)</p>

(3) 板書計画



《第7時》

(1) 本時の目標

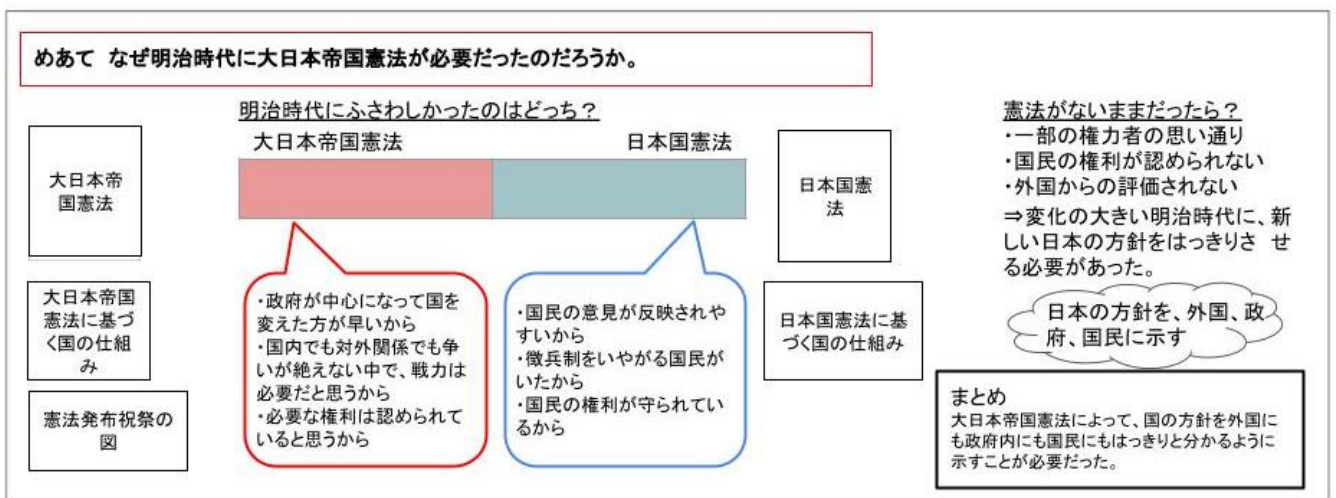
大日本帝国憲法の内容と明治政府の体制を調べ、明治時代の政治の仕組みや世の中の様子の変化、明治政府の意図を考え、理解できるようにする。

(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・ 児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府も国民も豊かな国を目指していた。</li> <li>・ 憲法や国会は、政府と国民の考え方の違いをうめることにつながる。</li> </ul> <p>○第1時で立てた問いを振り返る。</p> <p>なぜ明治時代に大日本帝国憲法が必要だったのだろうか。 (ウ事VI)</p>	<p>□前時のワークシート</p>	<p>◇前時のワークシートを基に、学習内容と本時の内容とを全員で確認できるようにする。</p> <p>◇第1時の内容を想起し、日本国憲法改正の背景を意識しながら学習できるようにする。</p>
<p>○大日本帝国憲法やそれに基づく国のしくみについて調べ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国会が開かれることになったけど、選挙に参加できたのは一部の人だった。</li> <li>・ 天皇主権であった。</li> <li>・ 国民も海外の憲法学者も大日本帝国憲法の完成を喜んだ。</li> <li>・ 五箇条の御誓文に基づいている。</li> <li>・ 国民の権利も制限付きで認められていた。</li> </ul> <p>○「明治時代にふさわしかったのは大日本帝国憲法か日本国憲法か」 (ウ価VI) を考え、話し合う。</p> <p><u>大日本帝国憲法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府が中心になって国を変えた方が早いから</li> <li>・ 国内でも対外関係でも争いが絶えない中で、戦力は必要だと思うから</li> </ul> <p><u>日本国憲法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民の意見が反映されやすいから</li> <li>・ 徴兵制をいやがる国民がいたから</li> <li>・ 国民の権利が守られているから</li> </ul> <p>○第2時以降の学習を踏まえて、「なぜ明治時代に大日本帝国憲法が必要だったのだろうか」について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 憲法がなければ、一部の権力者の思い通りに国をつくられてしまうかもしれない。</li> <li>・ 外国に認められるためには、進んだ考え方である憲法を取り入れなければならなかった。</li> <li>・ 国民が苦しまないように、憲法で守る必要があった。</li> <li>・ 日本の在り方を様々な人に示すために憲法が必要だった。</li> </ul>	<p>□教科書「憲法の主な内容」「憲法草案の記念碑」「大日本帝国憲法にもとづく国のしくみ」</p> <p>□絵画「憲法発布式祝祭図」</p> <p>□「五箇条の御誓文」</p> <p>□海外の憲法学者や民権派の憲法に対する評価</p> <p>□大日本帝国憲法と日本国憲法の比較</p>	<p>◇現代の憲法との違いに着目して調べるように促す。</p> <p>◇意見交流を活発にするために、タブレット端末(スプレッドシート)を活用し、学級全体の価値的判断の傾向を見ることができるようになる。</p> <p>◇自分の考えを書くことが難しい児童には、友達ワークシートの中から同じ立場の意見を参考にするように促す。</p> <p>◇江戸時代までの日本との違いや明治時代の世の中の変化の様子に着目して考えるように促す。</p> <p>◇憲法がなかった場合を想像することで、憲法が与える影響について考えるように促す。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「学習したことを基に、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化、明治政府の意図を考え表現しているか」を評価する。 【思-②】</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「これまでの学習を基に、我が国が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解しているか」を評価する。</p>

		【知-②】
<p>○本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大日本帝国憲法によって、新しい日本の方針を外国にも政府内にも国民にもはっきりと分かるように示す必要があった。</li> </ul> <p>○本時の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>憲法が国の方針を示すものだということが分かった。日本国憲法が今の日本の在り方を示しているのか考えてみたい。</li> </ul>		<p>◇時代によって憲法の内容が変わっても、意義は変わらないことを確認することで、次時以降の内容への見通しをもつ。</p> <p>◇学習の中で特に印象に残ったことや、今後調べてみたいことについて書くように促す。</p> <p>◇日本国憲法改正についての自分の考えに変化があれば、第1時のワークシートを修正する。 (ウ実I)</p>

(3) 板書計画



《第8時》

(1) 本時の目標

これまでの学習を基に、過去と現在の出来事の関連について考えようとする態度を養う。

(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・ 児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 憲法は国の在り方を示すもの。</li> <li>・ 明治時代は大日本帝国憲法によって、新しい日本の在り方を外国、政府、国民に示した。</li> </ul> <p>○第1時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治時代の学習を生かして日本国憲法の改正について考えるためには、現代の日本を見直す必要がある。</li> </ul>	<p>□前時のワークシート</p> <p>□第1時のワークシート</p>	<p>◇前時のワークシートを基に、学習内容と本時の内容とを全員で確認できるようにする。</p> <p>◇憲法改正の判断の難しさや自身の最初の意思決定について振り返ることで、学習の見通しをもつことができるようにする。</p>
<p>なぜ日本国憲法改正の論争が起こっているのだろうか。 (ウ事Ⅰ)</p>		
<p>○現在の世の中の様子と憲法改正に関する主張について調べ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロシアのウクライナ侵攻等で、日本を取り巻く世界の情勢が不安定</li> <li>・ 自衛隊を憲法に明記することで、自衛隊の活動の幅を広げる。</li> <li>・ これまで通り戦争をしない国であってほしい。</li> </ul> <p>○明治時代と現代の世の中の様子や人々の思いを比較して、共通点と相違点を話し合う。</p> <p><u>共通点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国の脅威がある。</li> <li>・ 国民の不安や不満がある。</li> <li>・ 技術や文化が変化している。</li> </ul> <p><u>相違点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争をしていない。</li> <li>・ 世界から認められている。</li> <li>・ 国民主権で国民の意思が反映される。</li> </ul>	<p>□アンケート「NHK世論調査」</p> <p>□地図「台湾有事」</p> <p>□新聞記事「北朝鮮 日本へ弾道弾」「露、武力で投票強制」</p> <p>□HP「みんなとわたしの憲法」</p>	<p>◇憲法改正に関する主張について賛成と反対の両方の立場で調べるように促すことで、両者の主張の背景について考えることができるようにする。</p> <p>◇世界の様子、政府のねらい、国民の願いの視点で整理するように促すことで、明治時代の学習とのつながりを考えることができるようにする。</p> <p>◇ポートフォリオを見て大日本帝国憲法制定の背景を想起することで、明治時代の世の中の様子と現在の自分たちの生活や社会の様子とをつなげて考えることができるようにする。</p> <p>◇共通点や相違点を考えることが難しい児童には、「外国との関係」や「国民の願い」など、視点を明確にするための声かけを行う。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「日本国憲法の改正の背景について、過去の出来事と現在の社会との関連について考えようとしているか」を評価する。</p> <p style="text-align: right;">【態-②】</p>
<p>○本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平和な日本を願う気持ちは同じだが、その実現に向けた様々な立場がある。</li> </ul> <p>○本時の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な人の考え方が分かった。自分ならどうするか考えて判断したい。</li> </ul>		<p>◇「平和な日本であるために」という意思決定を行う際の目的を確認することで、次時への見通しをもつ。</p> <p>◇学習の中で特に印象に残ったことや、今後調べてみたいことについて書くように促す。</p> <p>◇日本国憲法改正についての自分の考えに変化があれば、第1時</p>

(3) 板書計画

平和な日本であるために、日本国憲法は改正すべきだろうか。

めあて なぜ日本国憲法改正の論争が起こっているのだろうか。

憲法は国の方針を示すもの。

憲法改正へのそれぞれの主張

	世界	政府	国民
NHK 世論調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクライナ侵攻等があり、日本が争いに巻き込まれないか心配だから防衛力を強化する。</li> <li>・外国では新兵器の開発がどんどん進んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊を明記することで、自衛隊が活動しやすいようにする。</li> <li>・戦力をもつことで他国への抑止力にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛力を強化しないと、自分たちの生活が危くなる。</li> <li>・有事の際に自衛隊がすぐに動けるようにしてほしい。</li> </ul>
新聞記事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法9条がなくなれば、外国から戦争に参加するように求められるかもしれない。</li> <li>・世界から戦争をなくさないといけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民を戦争に巻き込む可能性があることはしない。</li> <li>・戦力をもつことで他国から警戒される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで通り戦争をしない国であってほしい。</li> <li>・兵役を課せられて軍隊に入りたくない。</li> </ul>

**明治時代と現代の比較**

共通点・外国の脅威

- ・国民の不安や不満
- ・技術や文化の変化
- ・政府の不安定さ

相違点・戦争をしていない

- ・世界から認められている
- ・国民主権

**まとめ**

平和な日本を願う気持ちは同じだが、その実現に向けた様々な立場がある。

《第9時》

(1) 本時の目標

これまでの学習を基に、日本国憲法の改正について考え意思決定するとともに、国家及び社会の発展を考えようとする態度を養う。

(2) 本時の学習過程と評価

○学習活動 ・ 児童の反応	□資料	◇留意点 ☆評価
<p>○前時の学習を振り返る。 ・ 平和な日本を願う気持ちは同じだが、その実現に向けた様々な考えがある。</p> <p>平和な日本であるために大切なことは何だろうか。 (ウ価 I)</p>	<p>□前時のワークシート</p>	<p>◇前時のワークシートを基に、学習内容と本時の内容とを全員で確認できるようにする。</p>
<p>○平和な日本の在り方について自分の考えを書く。 ・ 世界から認められてきた平和主義を貫き、外国と力を合わせながら国を守る。(国際協力) ・ 外国の脅威から国を守るための力をもち、国民が安心して暮らすことのできる国にする。 (軍事力) ・ 現在のように国民が戦いに巻き込まれることなく安全に暮らせる国であり続ける。 (戦争放棄)</p> <p>○「平和な日本であるために、日本国憲法は改正すべきか」 (ウ実 I) についての自分の考えを書き、発表する。</p> <p><u>賛成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この不安定な国際情勢の中で平和を守るために、自衛隊の活動の幅を広げたほうがよい。</li> <li>・ 日本は外国に守られている面もあるので、同盟国に何かあった時には一緒に戦えるようにしておかないと、外国との関係が悪くなるから。</li> <li>・ 自衛隊は外国から日本を守る以外にも、災害などの時に国民を助けることで平和な日本に貢献しており、憲法にはっきりと書くべきだから。</li> </ul> <p><u>反対</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わざわざ憲法を変えて戦争に巻き込まれる可能性を高めるより、これまで一度も戦争を許さなかった憲法を変えない方が国民は安心して暮らせると思うから。</li> <li>・ 世界から評価されている憲法を守ること、国民が安心するだけでなく、外国が日本を守ろうという思いをもつことにつながると思うから。</li> <li>・ 人の命より大切なものはないので、戦争につながるかもしれない改憲よりも、話し合いで解決する方法を考えた方がよいと思うから。</li> </ul>	<p>□前時までのワークシート</p> <p>□前時で作成した憲法改正に関する主張の表</p> <p>□アンケート「NHK世論調査」</p>	<p>◇前時で作成した表を提示することで、明治時代の学習で獲得した概念と照らし合わせながら現在の世の中の様子について考えるように促す。</p> <p>◇現在の日本が将来にわたって平和でいられる国の在り方になっているか考えることで、憲法改正による影響の持続性を意識できるようにする。</p> <p>◇日本国憲法第9条の改正に焦点化して話し合う事で、「平和な日本であるために」という目的を意識しながら議論を深めることができるようにする。</p> <p>◇意見交流を活発にするために、タブレット端末(スプレッドシート)を活用し、学級全体の実践的判断の傾向を見ることができるようになる。</p> <p>◇判断基準を見直し、より合理的な実践的判断を行うために、自分が大切にしたいことの優先順位を考えながら立場を決めるように促す。</p> <p>◇自分の考えは、発表を聞きながら随時修正するように促すことで、友達の考えと自分の考えを比較しながら聞くことができるようにする。</p> <p>◇憲法改正についての立場に偏りが見られた場合、多角的に考えるために、以下の工夫を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賛成と反対の両方の立場について書く。</li> <li>・ これまでの平和学習を想起する。</li> <li>・ 将来への影響や実現可能性を考える。</li> </ul> <p>◇自分の考えを書くことが難しい児童には、友達のワークシートの意見を参考にするように促す。</p>

<p>○弁護士から憲法についての話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法の意義や役割について</li> <li>・第9条を改正すること（しないこと）の影響</li> <li>・児童の意思決定についての感想</li> </ul>		<p>◇法や政治の仕組みの解釈については、弁護士に回答してもらうように促す。</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「日本国憲法の改正について、過去の出来事と現在の社会との関連から、国家及び社会の発展を考え意思決定しているか」を評価する。【思-②】</p> <p>☆ワークシートの記述や発言内容から「学習したことを基に、国家及び社会の発展を考えようとしているか」を評価する。【態-②】</p>
<p>○本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ目的でも、主張は違う。みんなが納得できるように、話し合いを続けなければならない。</li> </ul> <p>○本時の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判断する時には、様々な立場や世の中の様子を調べてから判断しないとイケない。難しいことを判断するときには、授業で身に付けた考え方が役に立つ。</li> </ul>		<p>◇多様な立場や価値観があるため、意思決定の結果も多様になることや、その多様さが論争問題を解決することの難しさにつながっていること、歴史を学ぶことが意思決定の助けとなることを確認する。</p> <p>◇学習の中で特に印象に残ったことや、今後調べてみたいことについて書くように促す。</p>

(3) 板書計画

めあて 平和な日本であるために、大切なことは何だろうか。

	改正すべき	改正すべきでない	
NHK 世論調査	<p>平和な日本であるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界から認められてきた平和主義を貫き、外国と力を合わせながら国を守る。</li> </ul>		
新聞記事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の脅威から国を守るための力を持ち、国民が安心して暮らすことのできる国にする。</li> <li>・現在のように国民が戦いに巻き込まれることなく安全に暮らせる国であり続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が戦いに巻き込まれる可能性が高まっているから、自衛隊が活動しやすい方が安心。</li> <li>・日本の領土を守りたい。</li> <li>・外国から信頼される国でないといけない。</li> <li>・攻撃しないことは大切だけど、できないでは外国に攻められてしまうかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が戦争に巻き込まれるのもいやだし、自分が戦争に行くのもいやだ。</li> <li>・戦争を繰り返さないために今の憲法を守るべき。</li> <li>・戦わないということが外国からの信頼につながっているはず。</li> <li>・自分たちの意思に反して戦うことになるのがこわい。</li> </ul>

**まとめ**  
(※児童の感想を中心に記述する)  
 同じ平和のためという目的でも、主張は違う。みんなが納得できるように、話し合いを続けなければならない。